

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ  2 号

2021年4月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

浦和区東高砂町11-1

TEL 048-871-2100

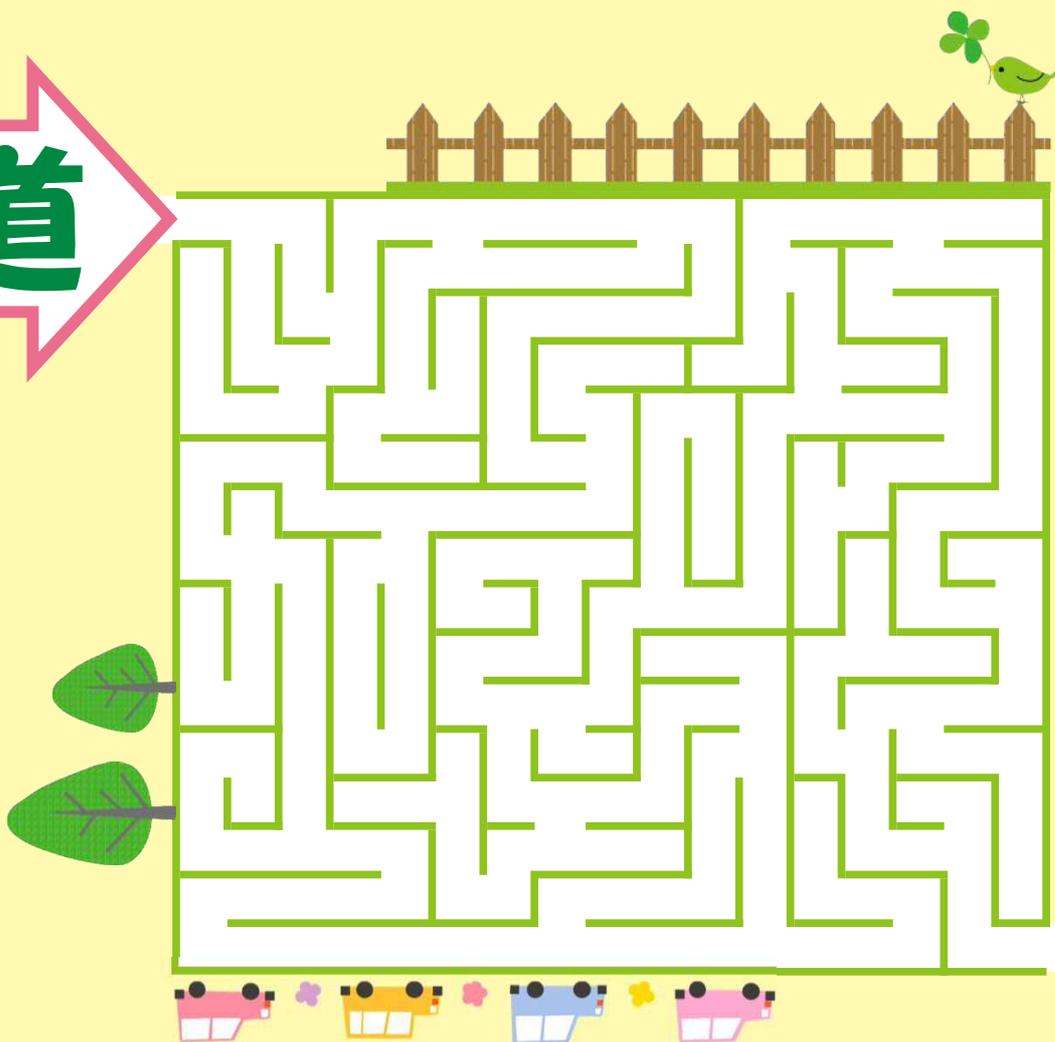
FAX 048-884-5500

<https://www.lib.city.saitama.jp/>



読み取りは
コチラ

道



ヲ読ム

茶道

『お茶のすすめ お気楽「茶道」ガイド』
川口 澄子／画と文 WAVE出版 2012年



茶道にはどんなイメージがありますか？
難しそう？堅苦しそう？それともおいしいお菓子が食べられるところ？
茶道部に入ったり、お家の人が習っていたりしないと、身近では無いかもかもしれませんね。著者もそんな一人。ところが大学生だったある日、友人たちと習いに行くことになりました。そこからお茶にハマった体験をマンガを通して教えてくれるエッセイです。
お稽古を始めると、あら不思議。自然と服装も言葉づかいも上品になり、物を大切に扱うようになりました。なぜそうなったのかは読んでからのお楽しみ。やや大人向けの文章ですが、イラストたっぷり&写真もたっぷり。最後まで楽しく読めちゃいます。

地下道

『軌道回廊』
徳川 弘樹／作 実業之日本社 2016年



ギラギラとしたライトに照らされたダンジョンや宇宙基地のような空間。一見すると細密画かCGのようにも見える不思議なこれらは、明るさを変えて撮影した複数の写真を組み合わせた作品です。実は地下鉄・地下道そしてトンネルの内部を写したもののなのです。
真っ暗で、同じように思える場所も、こうして見てみるとそれぞれに個性があることが分かります。通ったことはあっても、じっくりと見る機会はあまりない身近で美しい異世界を、本で鑑賞してみてください。巻末にはそれぞれがこの場所なのか、紹介されています。

道徳

『どう解く？』
やまざきひろし／ぶん きむらよう・にさわだいらはるひと／え
ポプラ社 2018年



「ついていい嘘と、ついていけない嘘ってどう違うんだろう？」
「食べていい動物と、食べていけない動物の違いってなんだろう？」
みんなならどう解く？
ここに書かれているのは大人でも簡単には答えの見つけられない難しい問題ばかり。ぜひ自分でも考えてみて、周りの人とも話し合ってみよう。後半には小学生の意見や各界著名人の考えを集めた「考えるためのヒント」もあるので、参考に読んでみるのも面白いよ。

鉄道

『鉄道旅ミステリ1 夢より短い旅の果て』
柴田 よしき／作 KADOKAWA／角川文庫 2015年



行方不明になった初恋の人高之を忘れられない香澄は、高之が所属していた大学の鉄道旅同好会に入った。高之の消息を知りたくて、香澄は電車で日本各地を訪れる。車窓から見る景色に感動したり、同乗した人たちが旅する理由を聞いたり、駅や街を見て歩いたりするうち、鉄道旅の楽しさがわかってきた。同好会の合宿へ行く途中、夜行急行の中で謎めいた行動をとる女性を見かけて……。
鉄道好きの作者による、鉄道旅の魅力が描かれたミステリー。

科学道

『ハダカデバネズミのひみつ』
岡ノ谷 一夫／監修 エクスナレッジ 2020年

どんなに奇妙なものでも“好き”を極めれば“道”と言えるのではないでしょう。哺乳類なのに変温、ネズミなのに寿命が30年、なにより大人も子供もシワシワで毛が無いその見た目。トップオブザ奇妙ないきものであるハダカデバネズミを見守り続けた研究者の愛がぎゅっと詰まった一冊です！

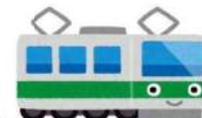


他にもこんな道が



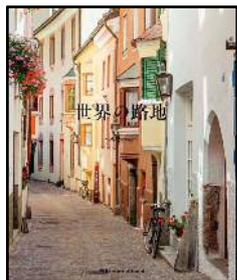
『シルクロード歴史と今が分かる事典』
大村 次郷／作 岩波ジュニア新書 2010年

『スマイル！-笑顔と出会った自転車地球一周157カ国、155,502km-』
小口 良平／作 河出書房新社 2017年



ほんの ひととき

おもむき なが ふだん
カラフルで 趣 ある通りの景色を眺めたり、普段歩いているときに見かけるものについて詳しくなったり……。
「道」を見て楽しむための本を集めました。



『世界の路地』

PIE BOOKS／編著 パイインターナショナル 2016年

各国の路地の写真集。古い言い伝えがある路地、数百年前の面影を残す路地、花や洗濯物の色彩に溢れた路地など、表情は様々。個性いっぱいの空間に入り込んだような気分になれる本。

『街角図鑑』

みつち
三土 たつお／編著 実業之日本社 2016年

みちばた
道端でよく見るありふれたものについて、どんなところに注目して眺めれば楽しいのか説明している図鑑。読んだ後には、今まで気にしていなかったものを面白いと思うようになるかも。



『高架下建築』

こうかした
おおやま けん
大山 顕／作 洋泉社 2009年



かんしょう
鉄道の高架下建築を鑑賞するためのポイントや、見学におすすめのスポットなどを、豊富な写真と共に解説。さいたま市内でも見られる高架下建築の魅力が、きっと分かるようになるはず。



次回
予告

はぴ53号(7月発行)のテーマは **スイーツ**



このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの作成費用は3円(概算)です。